



学校だより

横浜市立矢上小学校

11月号

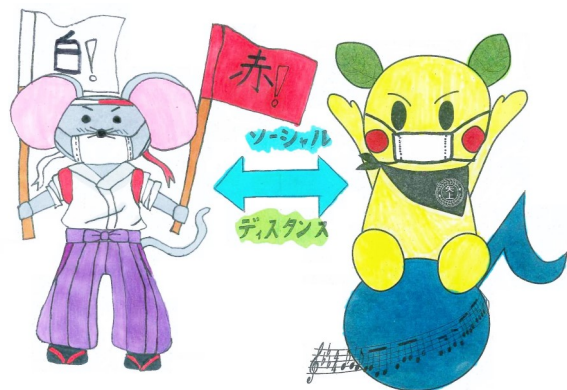
発行日 令和2年11月5日

「91日」

校長 持尾 博之

カレンダーを見ていると、今年度の授業日数が「あと100日」を切り「あと91日」になっていることに気づき驚きました。（11月5日現在）4月に新しい学年になり、勉強をがんばりたい、こうなりたいと夢に向かって過ごしてきた矢上っ子たちでした。コロナ禍にあり、いきなりの臨時休業でゆっくりとスタートを切ることにはなりましたが、少しずつペースをつかみ、自分の歩みを着実に始めました。そして、後期を迎えました。「こんな自分に成長したい！」その熱い思いはもち続けているのでしょうか。さらに次のやりたいことが見つかったのでしょうか。それもこれも、あと91回、学校に登校する中で完結させてほしいものです。ちなみに6年生は卒業まで86日です。

コロナ禍の中ではありましたが、力いっぱい取り組んだ運動会が終わりました。保護者・地域の皆様には、大変大きなご協力をいただきました。感染拡大防止を掲げて行事を運営する難しさ…、私たち学校職員もそのことを強く感じました。しかし、子どもたちのがんばる姿、成長する姿に救われた思いがしました。保護者の皆さんには、演技リハーサルを参観いただきました。運動会当日に負けないほどの「本気」の演技。力いっぱいがんばった時の笑顔も一緒に、たくさんの保護者の皆さんにご覧いただけたのではないのでしょうか。各学年ごとのよさやがんばりが見られたと思います。子どもたちは運動会の中で、互いの努力や成長を認め合いました。上級生の演技を憧れの瞳で見つめる下級生の姿。下級生の演技を優しくあたたかい応援の瞳で見つめる上級生の姿。いつもの自分を超そうと、全力で走りきった徒競走。矢上っ子に育てたい姿が運動会の中に見られました。



手をつなぐことが大好きな矢上小学校のマスコット「ヤガミーフ」。今年度の運動会では「ねず太郎」と仲よく並んでいます。手はつなぎませんが、ソーシャルディスタンスを守って、「心の手」をつないでいる姿が描かれています。力いっぱい競い合うと同時に、4月から矢上っ子全員で心がけてきたことを表しています。“赤組も白組も、みんなが心の手をつないで！全員で運動会を成功させよう。”という、大切なメッセージがあることを教えてくれているようです。

数年来、運動会マスコットが印刷されたクリアファイルを、運動会の参加賞としてPTAからいただいていた。

素敵な参加賞だなと思っていました。今年は、マスコットのヤガミーフとねず太郎が描かれた、新聞座布団がちょうど入る大きさのエコバッグをいただきました。心の手は、子どもたちを見守ってくださるPTAの皆さんとも、しっかりつないでいるんだなとうれしくなりました。実は、この参加賞、学区のまちの工場で作られたそうです。コロナ禍に負けず、運動会で元気にがんばった子どもたちに…という思いで、全面的に協力して下さったそうです。子どもたちが持ち帰る参加賞には、子どもたちを見守る多くの人のあたたかい思いがこもっています。ご家庭でも話題にしてみてください。

あと91回の登校、次のめあてをどこにするのか…、そのきっかけになってくれたらいいなと思っています。まだ、下巻の教科書に入ったばかりですから。秋本番と思っていたら、もうクリスマスケーキやおせち料理の話題が出ていたり、冬を乗り越えて来夏のオリンピックに向かう話題を耳にしたりするようになりました。時間はいつも同じスピードで進んでいるはずなのに、何だか取り残されてしまいそうで不安になります。しかし、その慌てた心の目で子どもたちを追い立てるのではなく、みんなと一緒に同じ時間を歩んでいることを実感できるように、おおらかな心を育てていきましょう。コロナ禍にあってもたくましく成長する矢上っ子たちを見て、改めてこの思いを強く持ちました。